

大牟田市立みなと小学校

1 本校のESDの特徴

本校は旧三里小学校94年と、旧三川小学校73年の歴史を受け継いで平成18年度開校した。本校区は熊本県に隣接しており、校区内には、有明海沿岸道路三池港IC及びJR鹿児島本線、国道208号・十三間道路、船津町道路、三川町道路が南北に走り、交通量がきわめて多い。地域の歴史は古く、本校で地域運動会が行われるなど、地域住民も本校に関心を持っている。旧三里小学校跡地には介護施設、また三川地区公民館も近くにあり、公民館の「出会いの文化祭」で4年生の児童が参加するなど交流も深い。

そのような環境の中、福祉、環境、地域の文化を中心にして、地域を大切にす心、問題解決学習や体験活動を積極的に取り入れている。

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

- 1年(福祉・環境)「さあみんなでかけよう」・自分と自分の周りの関係に気づく。…………生活科
2年(福祉)「レッツゴー町たんけん」・地域の人やもの、行事に親しむ。…………生活科
3年(福祉・地域の文化)「伝えよう!手と心で」・目の不自由な方の生活や思い、点字・手話の役割について調べたり交流したりしながら、自分のできることを考える。…………総合26時間
「みなと校区じまん隊」・みなと校区にあるすばらしい施設を探り発信する。…………総合22時間
4年(福祉・地域の文化)「バリアフリーをめざして」・身の回りのバリアフリーに目をむけ、調べ、自分の生き方で社会への参加の仕方を考え、進んで実行できる。…………総合17時間
「三池港のひみつを探ろう」・100年の歴史を誇る三池港を調べ発信する。…………総合12時間
5年 高齢者との交流(福祉・地域の文化)「高齢者との交流を始めよう」・お年寄りとの交流で好ましい人間関係を構築できるよう福祉体験活動を中心とし、思いやりや助け合いの心を育む。
…………総合31時間
「校区の祭りのすばらしさを発信しよう」・校区の人と一緒にみなと祭りのらんたん作りに参画する。…………総合12時間
6年(福祉・国際理解)「高齢者の方との交流を深めよう。」・認知症について調べ、自分たちにできることを考えて、介護施設を訪問する。…………総合33時間
「戦争と平和について考えよう」・原爆や戦争被害について調べ、平和の大切さを実感する。
…………総合15時間

3 特徴的な活動事例

<4年生 総合的な学習の時間 単元名「三池港のひみつを探ろう」 12時間>

(1)単元目標

- 身近にある三池港について興味を持ち、その役割や歴史について課題を持つことができる。
(課題設定の能力)
- 課題から追求の見通しを持ち、インタビューや資料などの情報から、三池港について調べることができる。
(問題解決の能力)
- 調べたことや収集した情報をもとに考えたことなどをまとめ、伝える相手に分かりやすく表現することができる。
(学び方・考え方)
- 自分が調べたい課題を設定したり、三池港について意欲的に調べるとともに、表現方法を自ら工夫することができる。
(主体的・創造的な態度)

○大牟田に愛着を持ち、三池港の良さに気づくことができる。

(自己の生き方)

(2)実践の展開

i) 三池港について、調べたいことを決め、計画を立てる。(オリエンテーション)

○社会科の学習を振り返り、大牟田にある三池港がどんなところかを話し合い調べたいことを決め、計画を立てる。

ii) 課題解決の見通しを持ち、追究する。

○三池港に見学に行く準備をする。(1)

・写真で見たことや、調べたいことをもとに見学の計画をたてる。

○GTをまねき、「三池港」について話を聞く。(2)

○実際に三池港に行き、どんなところか調査活動をする。(2)

・デジカメできちんと記録し、見学で感想を持ったことを元にもっと知りたいことを話し合う。(1)

○自分の課題について資料やインターネットで調べる。(2)

○調べたいことをまとめる。(1)

○追究してきたことをまとめ、三池港クイズ新聞を作る。(5)

・自分たちが調べたことをもとに「三池港クイズ新聞」を作る。



(3)子どもたちの様子

三池港が世界遺産に登録されたことによって子どもたちの関心はより深まった。3年生の時に外からの見学はしていたが、4年生になって実際に中に入れてもらえての学習は驚きで、意欲が高まった。

三池港の中の稼働システムの説明も100年ほど前に考え出されたものだと知って驚いていた。地域にこんなに大きくて世界とつながっている港があることにさらに誇りを持つことができた。港振興室の方をゲスト・ティチャーに招いての学習も丁寧に説明していただき、子どもたちの学習意欲を高めることができた。実際にできた新聞を三川地区公民館に掲示していただいた。



(4)成果と課題

・昨年度の4年生の取り組みを資料にして学習することができた。世界遺産に校区の三池港が登録されたことは子どもたちにとって誇りだった。テレビなどの報道や新聞記事など子どもたちにとって喜びだった。しかしインターネットで調べようとしても地域の施設のことは小学生向けに書かれてはいないので、説明資料をそろえるのに難しい面が多い。

4 本年度の成果と課題

○成果

- ・ユネスコスクールやESDに関しては職員の関心・理解が深まってきた。児童はきちんとした体験学習を重ねることで自分たちの身の回りの様々な施設により関心を持つことができた。
- ・学習を終えて三池港をさらに大切にして多くの人に知らせたいと考える子どもたちが増えた。

○課題

- ・地域素材の資料をきちんと教材化しなければならない。

